

●しゃらくかい

写楽句会

平成30年12月31日 036

<http://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>

投稿/投票宛先; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2018 Sharakukai

師走兼題「母」 出題：池福楼

3年目の「写楽句会」師走12月号をこうしてお送りすることができ、皆さまに心からお礼も申し上げます。
毎月の投票に加え、兼題や写真投稿も下さった読者の方々には特に感謝しております。
手探り出発でしたがホームページも立ち上がり、来年は4年目。ご意見ご希望はご遠慮なくお申し越し下さい。
これからも変わらずにご協力いただけますよう、お願いいたします。よいお年をお迎えください。

写楽句会一同：池福楼、ISAMU、北切雀、準坊、隅っ孤、沈丁花、千泉、久芽、昼寝覚、梵木

写真俳句



1 床伏して母の作りし葛湯待つ

熱を出して食欲がないときはよく作ってもらいました。懐かしい味です。



2 初時雨母の遺した香を聞く

時雨どきのリフレッシュに香を焚いてみました。



そうび
3 冬薔薇萎む花びら母想う



4 ねんねこの母に引かれてとことこと

とことこあるくから「とこちゃん」・・・それが私のあだ名だったそうです。下手な記憶絵です。



5 湯たんぽやぬくき優しき母が居る

厳冬になると思い出す亡母のぬくもり。



6 秋の日の母校の木々の高さかな

中学を卒業して約60年、通っていたころ見た木もたいそう高くなっておりました。



7 師走の夜米の酵母で暖まる



8 母笑みし平尾の秋の空高し

あの日も青空の下パラグライダーが飛んでいました。

俳句

1 母の味にいまだとどかぬ栗の飯

とどかぬまま、作る機会も減りました。

2 今朝寒い背に母の声ふり向かず

3 過去形で母を語るか冬菫

母は菫が特に好きでした…と、過去形。

4 母縮む小さく丸く日向ぼこ

百歳の天寿を全うした母、晩年は天使のようでした。

5 受け継ぎし母の湯たんぽ活躍し

寒がりの母が使っていた湯たんぽが出てきました。重宝しています。

6 年越しの蕎麦打つ母の手際よさ

母は蕎麦打ちが得意で評判でした。子供の頃は美味しいとは思いませんでしたが今では好物の一つです。

7 母からのセーターの袖の毛玉かな

七回忌も過ぎると、母からもらったセーターも古くなりました。



母のイメージ (Internet画像: 池福楼選)

短歌

〈準坊花シリーズ 7〉

もう少し

頑張っていて欲しいのに

風に遊ばる

さざん花無常

準坊

椿は花首から落ち、山茶花は花びらが散る。

咲いている時は見極めが難しいですね。



大空に広がる雲は母の文時には綿の時には波の

北切雀

母は筆まめな人でした。今、母は雲で手紙を書いてくる・・・と空を見えています。

川柳

根拠無し適材適所胸を張る 準坊

ボロボロとボロが出てくる内閣人事。

コンサート拍手喝采に眼を醒まし 準坊

クラシックコンサートで妻は時々眠る習性が有ります。

早々とゴーンゴーンと除夜の鐘 準坊

日産もエライ事になりましたね。

トースター食べると母いう朝の膳 北切雀

カタカナに弱い母でした。

写真投稿



平林寺紅葉

準坊

新座の平林寺へ紅葉の見頃に行ってきました。
ジジ・ババ達の笑顔も溢れていました。



富士 iSAMU

11月29日にスカイマーク羽田ー鹿児島便の
機内からの富士です。



櫨 (はぜ) の実 iSAMU

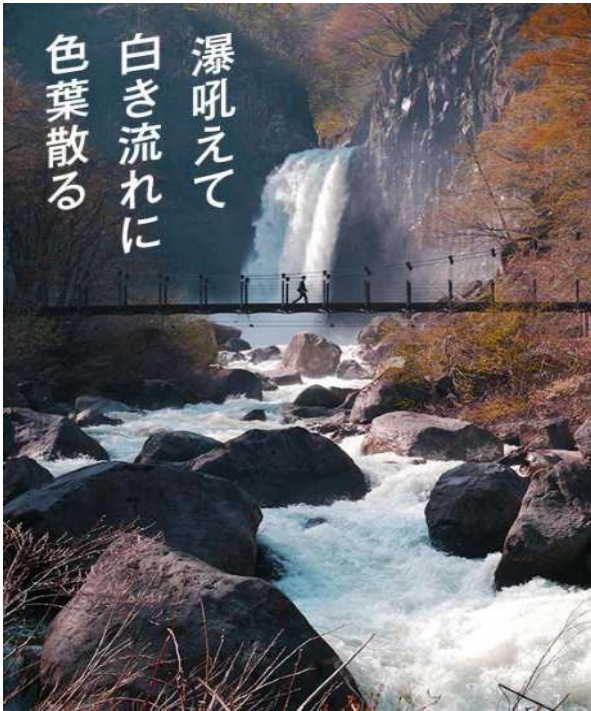
これから蛾を取って蛾燻にしていました。

<< >>は作者コメント、* は読者コメントです。

- * 何度か目のトライで、選びました。でも私なりに満足している選択です。お題は「川または水の流れ」ですが、もっと広義の「流れ」ということで選びました。
- * 今回も難しい選択でした。

写真俳句 投票数：16

一席



瀑吼えて白き流れに色葉散る 準坊 (9票)

<< 雨後の滝は迫力がありました。上越にて。>>

- * 上五の表現が個性的。滝と川の流れが躍動する風景が迫る。
- * 瀑吼えてという表現と字の選び方 完璧 写真もいいです。
- * 滝の迫力、白き流れいいですね。
- * 写真と句がまさにぴったり。滝の音が聞こえてきそうです。
- * 水の勢いが、「瀑」の字と流れの色「白」に出ています。

佳作7句 (11月号掲載順)



雲流れ夕陽あらわる秋の海 千泉

<< 短い時間でしかたか、感動しました。>>

- * 写真とてらいのない句がいいです。こんな素敵なフォントが使えるとは羨ましい。
- * 神を迎える様な心震わす感動。大自然のドラマに思わず涙がこぼれる…
- * 広大な景色に心が洗われますね。ゆったりとした時間の流れを感じます。
- * 雲が流れた後に夕日が顔を出し、海を照らすという風景ですが、雲から秋だとわかるんですね。感動的です。



舟下り歓声まとう溪紅葉 (たにもみじ) 池福楼

<< 京都・保津川峡谷の紅葉。トロッコ列車へ向けて川下りの歓呼の声が届く。>>

- * 歓声が聞こえてきそうですね。
- * 歓声をまとうという表現がいいですね。紅葉と白波の色の対比も鮮やかです。



清流の水草青き小春かな 久芽

<< 晩秋でも水草の色はとても鮮やかでした。>>

- * 水草の姿で水の流れを表現。「小春かな」と少し緩んだ寒さに作者は穏やかな気持ちになっている。
- * 冷たそうな流れも小春日和には柔らかそう。
- * 水草は春の季語ではあるが、季節を越えて澄んだ水的美しさを讃えている。



岩下る水の速さや秋の色 昼寝覚

<< 安達太良溪谷遊歩道に流れる小川で撮りました。>>

- * 爽やかな空気の空間、木々の香りと流れの音が目から飛び込んできてリフレッシュさせてもらいました！
- * 秋の冷涼な流水が岩に磨かれ更に澄んでみえる。
- * 水の速さと秋の色。移りゆく時間を感じます。
- * 写真でも流れの速さがよく表れていますね。



秋の宵ひかりの流れにぎやかに 梵木

* 季節のない都会の夜景を川の流れのように詠んだ視点が面白い。



立冬の海せせらぎの目的地 北切雀

<< 小川だって目指すは海。行ってらっしゃい、また雨になって戻ってらっしゃい。>>

- * 水の一滴から小川へ海へ。時空間を自在に往来するスケールの大きい句。
- * 一年の終わりここが目的地だったんですね。来年はまた雨になってきますね。



白鳥の川の流りにゆらりゆら iSAMU

<< 埼玉の川島町の越辺川（おっぺがわ）に11月小白鳥が飛来するようになりました。>>

- * 白鳥は水に浮かんで、しばしじっと休憩でしょうか。リズムカルな「ゆらりゆら」が効いていますね。
- * 柔らかな羽毛と品位際立つ白が晩秋の青空と水の流りに映えて。写真も素晴らしい。
- * 白鳥の「の」を「や」にかえたらどうでしょう。

俳句 投票数：15



<< 鳥海山の湧水を集めて流れる滝ですが、山に向かって流れ落ちるので有名な「法体の滝」>>

(撮影：昼寝覚)

一席

湧水に紅葉ひとひら浮き沈み 久芽 (9票)

<< 湧き水の流りに枯葉が翻弄されていました。>>

- * 清冽な4Kの映像がすぐに浮かんでくる。清々しい気分になさせてくれる句。
- * 紅葉が踊っているさまが思い浮かべられる句です。
- * 本当に見逃してしまうような場面ですが、それを詠んでしまう心の豊かさというか、感性の豊かさを感じます。
- * 作者の目が自分の目のように感じました。

佳作6句 (11月号掲載順)

オリオンを仰ぎ観ながら流る川 準坊

<< 静寂の冬空にオリオン座は良く似合います。>>

- * オリオンはなんとか夜空に探せても、天の川までは見えない所に住んでいるのでこの句のような状況がとっても羨ましいです。
- * 冴ゆる空に星座がまたたき、冷たい川の流れとともにいつそう寒さが増す。
- * オリオンを眺めながら川は流れて行くんですね。素敵です。
- * オリオンが季語ですか？

編集注：オリオンは三冬、冬の季語です。

枯れ柳三味の音渡る高瀬川 池福楼

<< 冷え冷えとした冬の洛中。弦の音色が旅情をそそる。>>

- * なんと風流な句でしょう。音のある情景が想像できて旅行気分です。
- * これぞ日本の伝統文化ですね。優雅な光景です。
- * 時代を超えて今でも残る日本の風情ですね。

渡り鳥魚待つ流れ静かなり 千泉

<< じっと待つ姿が印象的でした。>>

- * 晩秋の川辺の情景が見えてきます。
- * 渡り鳥に十分に羽を休めてと願う心。

訃報あり卒然として冬銀河 北切雀

- * 「川」の兼題で銀河とは、納得です。
- * 突然の訃報に空を仰ぐと、悲しみを薄めるように星たちが瞬き、時は止まることなく悠久に流れて行く。

雨上がり朱い葉浮かぶ薄暮の庭 梵木

- * 紅葉の落ち葉がキャンドルナイトのイベントのよう。
- * 朱い葉浮かぶ薄暮の庭、ロマンチックな感じがします。

瀬を下る船頭さんの竿さばき 昼寝覚

<< 長瀬のライン下りの船、船頭さんが狭い瀬を竿を巧みに操って、駆け抜けていきました。>>

- * 河岸で見る方が船頭の竿さばきの技が良く分かる。

短歌

**冬花の
主役に押さるシクラメン
気恥ずかしさに
下向きに咲く**

<< 雨から花粉を守るために下向きに咲いてるシクラメン。
恥らっているように見えますね。
和名：篝火花（赤いシクラメンは正に篝火）>>



- * 毎回投稿される準坊さんの短歌力は相当なもの。読者の楽しみでもある。花言葉「はじらい」を取り込んで、美しい女性を連想させる、くすっとする楽しい短歌になっていますね。
- * 季語のような制約のない短歌は詠みやすい？とんでもない。毎月詠んでくださる準坊さんに敬服。花の写真が好きなのでそれも毎月楽しみにしています。

川柳**消費税ややこし過ぎて買い控え 準坊**

<< 来年の消費税アップの軽減税率の内容が難し過ぎて年寄りには無理。>>

- * イギリスの消費税はたしか17.5%。算数に弱いので文句も出ず素直に受け入れています。

豊洲市場テーマパークと勘違い 準坊

<< 一般人は魚を買えず仲卸店は昼過ぎるとシャッター下ろし、行った人はガッカリ。>>

- * 日本のTVでみたのでその通り!と笑ってしまいました。
- * 切り身などにする加工棟もあるそうですね。買えなくとも一度見学してみたい。



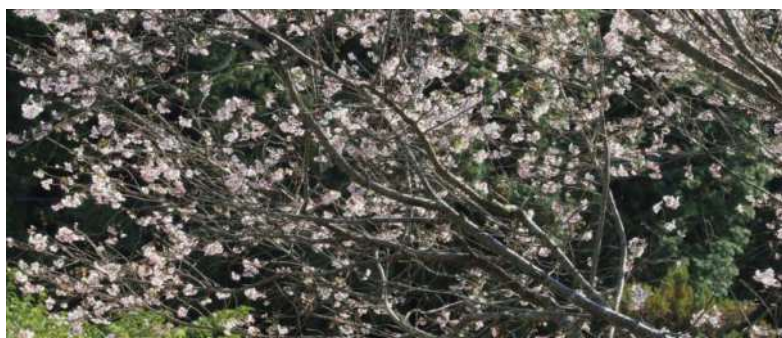
雲流れ夕陽あらわる秋の海

千泉

推薦者：2名

- * 光の道も撮れていて素敵な写真で感動が伝わります。
(準坊)
- * 光、水、雲・・・どの表情も満点です(北切雀)。

写真投稿



iSAMU

「冬桜」と「益子焼と烏瓜」

<<いづれも11月3日に益子で撮影しました。>>

- * 冬桜の写真いいなあ、私もこんな桜に冬出会いたいものです。(FNさん)



- * 食べられないのが残念。
すてきなインテリアになりますね。
(北切雀)

- * 作者さん、読者さん、いつもご協力ありがとうございます。多々ある不備、不手際のお見逃しも感謝です。
- * 平成31年1月の兼題は梵木さんから「手または足」、2月は久芽さんから「動物」と出ています。
- * 平成30年12号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた2作品の番号を投票して下さい。
- * 句とは別に、写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら、「写真いいね!」として投票下さい。
- * 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。短歌、川柳も大歓迎です。
- * 師走12月への投票、睦月1月号作品への投稿の締め切りはともに平成31年1月20日です。
- * 随想、珍事報告など書き込みの他、読者さんからの写真や句の投稿、兼題提案もお待ちしています。

「写楽句会」(五十音順)

池福楼、iSAMU、北切雀、準坊、隅っ孤、沈丁花、千泉、久芽、昼寝覚、梵木

写楽句会036(連絡先: kinuko_thompson@hotmail.com)

© 2018 Sharakukai

筆責: 北切雀

校正: 準坊、池福楼

<http://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>

